



3班 教材

絵画資料から考える江戸時代の
貨幣制度～導入として～



江戸時代の1両は今のいくら？

簡単には答えられません...

Q. 何故？

A.江戸時代における貨幣の価値がいくらに当たるかという問題は、大変難しい問題です。世の中の仕組みや人々の暮らしが現在とは全く異なり、現在と同じ名称の商品やサービスが江戸時代に存在していたとしても、その内容や人々がそれを必要とする度合いに違いがみられるからです。

また、江戸時代は約260年と長期にわたることや、金貨・銀貨・銭貨からなる貨幣制度（三貨制度）などいろいろと考えなければいけないことがあります。詳しくは、2ページをご覧ください。

Q. 目安として知る方法はありますか？

A.目安として知る方法に、当時のモノの値段を現在と比べてみる方法があります。

「小判1枚(=1両)」に含まれる金の価値を 現在の価格に換算すると？

江戸時代は260年の間に、金の品位（含まれる金の割合）が異なる10種類の小判が発行され、小判1枚に含まれる金の量が年代によって異なっていました。

小判は計数貨幣で、小判に含まれる金の量で価値が決められていたわけではありませんが、仮に、現在の金の価格で小判1枚に含まれる金の価値を計算してみるとどうなるでしょうか。

✎ 調べてみよう

金1gの現在の価格 (a)円(新聞などで調べてみましょう)

・慶長小判(重さ17.9 g、品位86%)の金の含有量	約15 g ×	(a)円 =	円
・元禄小判(重さ17.9 g、品位57%)	〃 約10 g ×	(a)円 =	円
・天保小判(重さ11.3 g、品位57%)	〃 約6 g ×	(a)円 =	円
・万延小判(重さ 3.3 g、品位57%)	〃 約2 g ×	(a)円 =	円

※仮に金1g4,500円とすると、慶長小判には約15gの金が含まれ67,500円、天保小判の金は約6gで27,000円となります。

江戸時代の1両の価値を考える上で、考慮すべき点は？

社会や経済の
しくみの違い

作柄、地域差

「江戸時代」のスパン（約
260年！！）

三貨制度

社会や経済の仕組みの違い

江戸時代の人々にとって滅多に手に入らず貴重であったモノが、現在も同じように貴重であるとは限らない。同じ機能を果たすモノであっても、当時と現在とでは材料や生産方法が異なり、江戸時代には貴重であっても、現在は手軽に安価で買える、ということもある。

貨幣博物館 お金の歴史に関するFAQ(回答)「江戸時代の1両は今のいくら？一昔のお金の現在価値」p.2より

約260年におよぶ江戸時代

江戸時代、約260年の間には、農業をはじめ諸産業が発達し、商品の流通もさかんになり、人々の生活も変化した。そうしたことから、各時期でモノの値段は大きく異なった。また、幕末の開港後には、輸出の増大などでモノの値段は1年のあいだでも大幅に上昇した。

貨幣博物館 お金の歴史に関するFAQ(回答)「江戸時代の1両は今のいくら？一昔のお金の現在価値」p.2より

作柄、地域差

農産物などの値段は、江戸時代には豊作・不作など天候による影響を大きく受けた。また、地域差や季節変動も、消費者の手に渡るまでの輸送技術や冷蔵技術などが進歩した現在とは大きく異なる。

貨幣博物館 お金の歴史に関するFAQ(回答)「江戸時代の1両は今のいくら？一昔のお金の現在価値」p.2より

三貨制度

江戸時代、金・銀・銅(銭)の貨幣が使われ(三貨制度)、それぞれの交換レートとして幕府による公定相場があったが、実際には毎日変動した。仮に、そば1杯16文としても、1両が何文であるかによって、1両でそばを何杯食べられるかは変わってくるため、そばで換算する1両の現在価値も異なってくる。

貨幣博物館 お金の歴史に関するFAQ(回答)「江戸時代の1両は今のいくら?一昔のお金の現在価値」jp.2より

江戸時代の1両では何が買えた？

◎ 江戸時代に1両で買えたもの (19世紀前半武蔵国の例)

団子 1,625本(1本4文、4ツ刺し)

⇒今の団子の値段 1本 _____ (a)円

_____ (a)円×1,625本= _____ (A)円



団子で換算した時の1両の値段

今の値段を調べて、
計算してみよう!

饅頭 約2,170個(1個3文)

⇒今の饅頭の値段 1個 _____ (b)円

_____ (b)円×2,170個= _____ (B)円



饅頭で換算した時の1両の値段

今の値段といっても同じモノでも手頃なものから高級品までいろいろあるね。江戸時代にも同じモノでも色々なタイプがあったけど史料からはなかなかわからないんだ。

豆腐 約270丁(1丁24文)

⇒今の豆腐の値段 1丁 _____ (c)円

_____ (c)円×270丁= _____ (C)円



豆腐で換算した時の1両の値段

◎ 江戸時代のモノの値段 (19世紀前半の一例)

長いも	1本	108文
椎茸	10個	45文
ゆず	1個	16文
こんにゃく	1丁	8文
醤油	1升	83文
うり	1つ	8文
熊手	1本	35文
草履	1足	12文
髪結		16文



蓮根	1本	78文
鯉節	1本	124文
柿	1個	6文
酒	1升	200文
酢	1升	124文
ろうそく	60本	100文
鮭	1本	250文
日傘	1本	188文



賃金の一例

武家下女奉公人	1年	2~3両
町方奉公人	1年	男性2両 女性1両
料理人の賃金	1日	300文

※ここで挙げた事例は、それぞれある時点・ある場所での、個々の事例を目安として示したものです。時期・場所等により、各値段は異なります。また、ここで挙げたような個数・量も判明する事例を同じ史料から拾うのは困難なため、いくつかの異なる史料から掲げています(関東農村19世紀前半)。あくまで目安としてご覧ください。

金はどこから得られた？

【参考】「江戸時代の鉱業」(Google Arts & Culture 国立科学博物館)
<https://artsandculture.google.com/exhibit/qwKyVjKjiOKAIQ?hl=ja>
※《佐州金銀採製全図》等の展示が見られます。

教材No.3班-2

「慶長小判」(東京国立博物館所蔵／「ColBase」収録)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-74645>



金山を描いた絵巻から、作業のようすを見てみよう



教材No.3班-3

《佐渡金山金掘之図・人》

https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/listPhoto?LANG=default&BID=F100000000000031992&ID=&NO=&TYPE=largeViewer&DL_TYPE=pdf

【参考】史跡佐渡金山の展示(再現模型)で工程を確認してみよう



江戸時代の相川の町。佐渡奉行所を中心に鉱山町が形成された。



① 鉱石を選別する工程



② 選別された鉱石を牛で運ぶ工程



③ 鉱石を細かく砕く工程



④ 鉱石を石臼ですり潰す工程



⑤ 鉱石を水で流して選別する工程(ねこ流し)

「史跡佐渡金山」公式サイト 展示資料館 <http://www.sado-kinzan.com/material/>

金貨はどのようにつくられた？

教材No.3班-4

『貨幣博物館常設展示図録』 <https://www.imes.boj.or.jp/cm/collection/tenjizuroku/mod/book/html5.html#page=46>

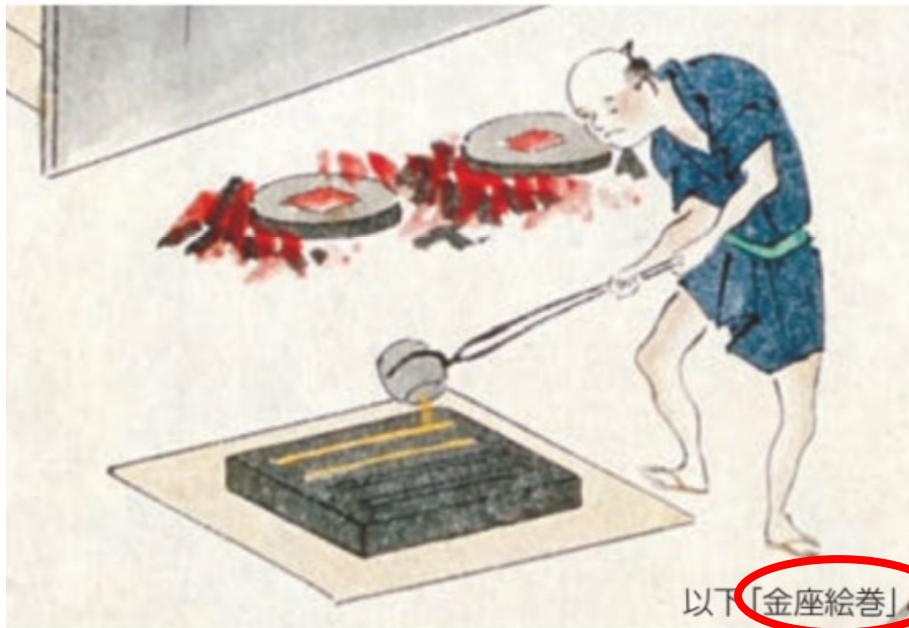


1

金と銀の混合物から金を抽出する。



2 地金を溶かして鋳型に流し込み、棒状の
棹金をつくる。



以下「金座絵巻」

3 棹金を打ち延ばして延金をつくる。



4 1両の重さに切った延金の切片を小判の形に打ち延ばす。



5 小判の表面に槌目をつける。



6 小判の表面に薬品を塗り、火にかけて表面の銀を取り除き、金のみを残す処理をする。



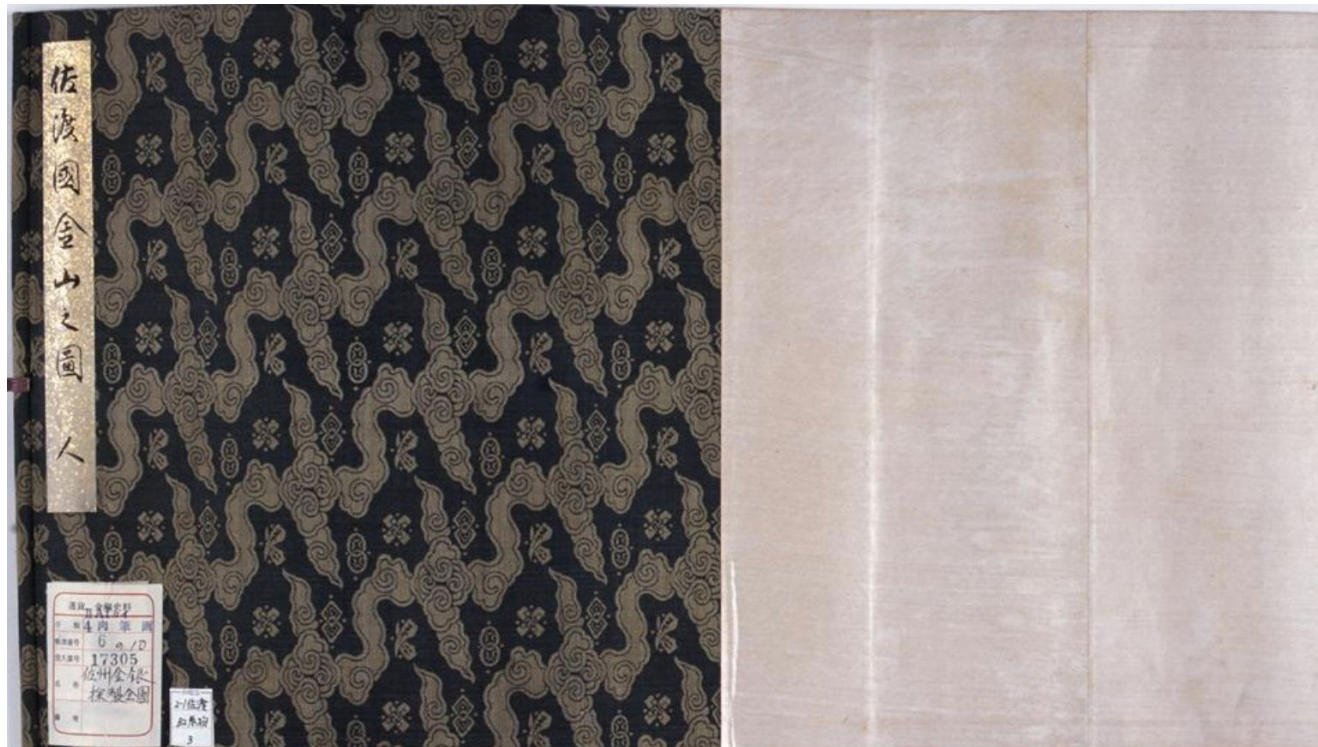
7 検査を終えた小判を紙で包んで封印する。



8 作業を終えた金貨を蔵へ納める。



《佐渡金山之図・人》から金抽出の場面を見つけよう



教材No.3班-5

《佐渡金山之図・人》(貨幣博物館蔵) https://www.imes.boj.or.jp/cm/research/komonjo/001002/001/908108_1/html/

《金座絵巻》で作業工程のそれぞれの場面を見つけよう

< 一覧へ戻る

> 金座絵巻 上

金座絵巻 下

902512

出版あるいは研究等でご利用の際は所定の手続きが必要となります。



日本銀行貨幣研究所 Bank of Japan
貨幣博物館
CURRENCY MUSEUM



教材No.3班-6,7

《金座絵巻 上》<https://www.imes.boj.or.jp/cm/research/2021emaki/views/902511.html>

《金座絵巻 下》<https://www.imes.boj.or.jp/cm/research/2021emaki/views/902512.html>

貨幣はどこでつくられた？

「金座」「銀座」とは？

教材No.3班-8

「天保丁銀」(東京国立博物館所蔵／ ColBase収録)

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-74683>



こちら 金座 です



教材No.3班-9

《金吹方之図》(独立行政法人国立公文書館所蔵／国立公文書館デジタルアーカイブ収録)
<https://jpsearch.go.jp/item/najda-6VmYu0kZTW9vikvqtlDVUWjEiXGzTRw7>

こちらは 銀座 です



教材No.3班-10 《銀座巻物》<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2586724?tocOpened=1>

《金座絵巻》《金吹方之図》《銀座巻物》から、疑問に感じたことは？

→ 金座と銀座の違いは？

→ 金貨を製造する作業をなぜ描いた？（機密事項では??）

→ 工程通りに描かれていない！？

何をしている場面だろうか？



→ できあがった小判を役人がチェック。
信用に足りるクオリティーでつくられているか？

金貨はいかにして保証された？

品位をはかる

金貨の純度（品位）を鑑定する際には、金貨を試金石に擦りつけ、その条痕（筋状の痕）を試金棒の条痕と比較した。



試金石・試金棒で金の品位をはかる様子

〔金座絵巻〕



試金石



試金棒

極印による貨幣の品質保証

金貨・銀貨の品質を保証するために極印が打たれた。



「金座絵巻」

極印打ちの様子

金を小判の形に整えた後、極印が打たれた。

金座後藤家を表す
「扇形に桐」の紋

「壹両」

「光次」と花押

金座後藤家を表す
「扇形に桐」の紋



製造時期を示す「文」の印

光次の花押

金座人の印

職人の棟梁の印

裏

元文小判



扇形に桐



極印

丸に文

金貨の製造にあたって後藤家は、桐紋、花押、額面などの極印を打った。

教材No.3班-4-7

金貨の写真から、品質保証の しかけを見つけよう

デジタルデータ(以下の
リンク)で裏面も
チェック!

教材No.3班-2

「慶長小判」(東京国立博物館所蔵／ColBase)収録)

厚さ1ミリの金薄板の表面に、タガネを横向きに打ち、上下に扇方枠に五三桐の極印、中央に「壱両」下部に「光次」極印を打つ。小判の誕生は大判より遅れて文禄(1595)年ごろ、後藤徳乗の門人で徳川家康の命により江戸に下った後藤光次(みつづく)の製造とされる。

<https://jpsearch.go.jp/item/cobas-74645>





デジタルデータ(以下のリンク)で裏面もチェック!

教材No.3班-11

「享保佐渡小判」(東京国立博物館蔵／「ColBase」収録)
江戸時代・享保元～9年(1716～24)。定式化した小判の形式をとっているが、表の「光」字の第6画と、「次」字の第4画とが重なっていない点が、享保小判の特徴とされる。裏面の右上に押された「佐」は、この小判が江戸以外にも置かれた金座のうち、佐渡で製造されたことを示している。 <https://jpsearch.go.jp/item/cobas-74653>

江戸時代には、何によって貨幣の「信用」が担保されていただろうか？

幕府が貨幣の鑄造権を握ったことは、どのような意味を持つだろうか？